

“ちいさな企業” 発展会議（岡山県岡山市）
議事概要

中小企業庁

- ・ 日時：平成27年5月25日（月）14：00～16：00
- ・ 場所：岡山県岡山市（テクノサポート岡山 大会議室）
- ・ 中小企業・小規模事業者、支援機関、地元自治体の取組を御紹介いただくとともに、意見交換を行った。
- ・ 参加者からの主な御意見は以下のとおり。

＜中小企業・小規模事業者＞

- 小規模事業者持続化補助金に応募したことで、自社の強み・課題を明確にすることができた。
- 支援制度の情報が乏しく、十分に活用できない小規模事業者が多い。
- 持続化補助金は、申請書類が少なく、挑戦しやすかった。50万円の補助は、経常利益1%であれば、売上5,000万円に相当し、大変有り難い。
- 補助金制度に対する要望として成果物を複数年で使用できるようにして欲しい。事業計画を立てる際、今後3年間を想定している。
- 少子高齢化対応に有効なロボット導入支援補助金を局職員に紹介してもらったり、よろず支援拠点による支援により、スキルアップにつながった。一方、補助金の申請書類の内容は、小規模事業者にとって難易度が高い。
- 小規模事業者の多くが、自社の課題が何かすら分からず、どこにどのように相談したらよいか分からないという悩みを抱えている。
- 賃上げしたいのは山々だが、未だに下請へ安価な発注をするケースなどが多く、会社自体が儲からず、従業員に還元出来ていない。「下請かけこみ寺」等のさらなる周知を御願いたい。（発注側にも）
- 採用コスト（最低1人あたり50万円）を抑えるためにも、中小企業限定の学

生向け就職ナビサイトの開設・合同説明会の開催をお願いしたい。

(大手企業と同じ土俵で求人を行っても、埋没し、コストが嵩むばかり)

- 人材不足により、賃金の上昇アップをしなければ人材がついてこないのが現実。
- 事業継承するにあたり、債務負担をすることとなるが、その際に連帯保証人として複数名あげられる場合があり、自分の場合、会長が連帯保証人となっているため、事業継承したのちでも債務負担をする可能性があるため、経営に関して口を出してくる。
- 若い後継者に資産があるわけもないが、円滑な事業継承をするためにも他人が継承するとき子供がいなくても継ぎやすい環境整備について連帯保証を国として保証するなど対策をしてほしい。

<支援機関・自治体>

- 経営改善・事業再生支援において、経費削減等のアドバイスしかできず、職員によるモニタリングには限度がある。
- 公的機関が無料で相談に乗っているが、十分に認識されていないのが現実で、公的な支援機関が整備されているということを広く情報発信してもらいたい。
- 経営革新計画については、今年度より、中小企業支援センター内に、経営革新専門のコーディネーターを配置するとともに、専門家派遣も予定している。
- クラウドファンディングを利用した、企業の資金調達と販路拡大を支援する、「岡山ふるさと投資応援事業」を実施する予定である。